

# 令和3年度 学校評価

本年度の 重点目標	<b>教育目標「人間として立派であれ」 教育方針「未来を拓く力を育てる」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の夢と進路希望を実現させる効果的な学習指導及び進路行事の更なる充実</li> <li>・文武両道の追求を通じた、品位ある生活態度、社会性、健康管理能力を備えた生徒の育成</li> <li>・伝統の継承と教育活動の精選の両立させた、職員の働き方改革の実践</li> </ul>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・80周年記念事業の実施</li> <li>・PTA、同窓会、中学校との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を踏まえた周年行事の実施</li> <li>・情報共有の体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・80周年記念事業の式典を用意周到に準備した。また、来賓、招待者の人数を限定し、会場では新型コロナウイルス感染症対策を十分に行った。</li> <li>・気持ちよく来校していただくような準備を行なった。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領実施を見据えた授業改善、観点別評価の手法の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケート、公開授業の充実</li> <li>・教科会、教科主任会を生かした評価手法の開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業アンケートを実施し、授業改善への意識を向上させた。</li> <li>・観点別評価についての基本的方針を作成し、それに基づいて各教科が評価を試行することができた。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な進路選択と学習を促す指導体制の一層の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談指導の更なる充実</li> <li>・自習教室の更なる充実</li> <li>・習熟度別、大学別講座の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路研究会、検討会を充実させ、個々の生徒に応じた面談、支援へと還元することができた。校舎工事の影響はあったが、自習教室や特別講座を実施することができた。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を律する力の向上</li> <li>・いじめ、問題行動の早期発見と迅速な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な校則の見直し</li> <li>・アンケート(年間2回)の実施</li> <li>・いじめ対応の組織的な体制確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー、身だしなみウィークとセルフチェックを通じて、自己を律する力の向上を図った。いじめについては、アンケート結果への迅速できめ細かい聞き取りに努めた。</li> </ul>
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自己理解と相互理解の力の更なる向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HR活動、学校行事、部活動、委員会活動の全てを生かした人材育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西祭を2年ぶりに実施。種目の変更等で極力密を避けて実施することができた。部活動は、全国大会2つ、東海大会5つと結果を残した。</li> </ul>
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身両面において主体的に健康を管理する能力の更なる向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理に関する的確な情報提供と指導</li> <li>・保健室及び相談室をよく利用する生徒への「エンカレッジ運動」の更なる充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒保健委員作成の保健だよりを毎月及び臨時に発行し、健康情報の提供を行った。</li> <li>・保健室来室者に対して生活を振り返らせ、保健室利用に至った経緯や今後の生活についてエンカレッジ運動の精神に基づき指導した。</li> </ul>
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「エンカレッジ運動」を軸とした教育相談活動の更なる推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みを抱える生徒の早期発見と対応、情報の共有化を踏まえた教育相談委員会の充実</li> <li>・スクールカウンセラーの効果的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒の情報共有をしっかりと行い、詳細な指導を行えた。また、支援が必要な生徒に対しても支援委員会を通して配慮することができた。</li> <li>・スクールカウンセラーとの面談及び職員への研修会は充実した内容となった。</li> </ul>
図書研修部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員研修の更なる充実</li> <li>・充実した図書館活動の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌、学年との連携を密にした初任者研修等の更なる充実</li> <li>・ICT活用を含めた授業改善、先進校への積極的な視察の推奨</li> <li>・生徒主体の委員会活動と図書館行事の推進、館内整備の推進と蔵書の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育センターの各種研修会やOJTだけでなく、学級経営力向上研修会を実施し、授業改善に積極的に取り組むことができた。また、志望理由書書き方講習会や小論文ガイダンスなどを実施した。</li> <li>・ビブリオバトルの実施や、図書館便り・図書館報の発行を通じて、充実した図書館活動を推進することができた。</li> </ul>
SS事業部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究の指導体制の強化と研究レベルの向上</li> <li>・ICTを活用したSS事業の推進</li> <li>・生徒評価及び事業評価の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究レベル向上を目的とした課題研究の指導力向上研修の実施</li> <li>・成果発表会や生徒研修等におけるICTの活用</li> <li>・一般的ループリックを用いた生徒の変容の評価及び事業評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員研修会の早期実施により、課題研究の本格開始前に指導力を向上させ、生徒の研究レベルの向上につながった。</li> <li>・7月の成果発表会では、オンライン発表の部を設けた。県外の方にも視聴いただき、生徒にとって有意義な発表となった。</li> <li>・本年度から、各学年の課題研究の授業で、一般的ループリックを用いた評価を実施した。変容の評価は今後行う。</li> </ul>

<p>第1学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な生活習慣の確立</li> <li>・ 基礎学力の充実と伸長</li> <li>・ リーダーの育成</li> <li>・ 生徒指導力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面談や学習時間記録などを生かした指導助言の充実</li> <li>・ 学習計画立案への指導の充実</li> <li>・ 考査毎の学習会の実施</li> <li>・ 行事や集会などを活用した意識の向上</li> <li>・ タイムリーな情報共有の継続的実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概ねの生徒が、西高生としての生活リズムに順応している。</li> <li>・ 学習時間を取ることができているが、教科の偏りなどが見られる。決められた内容以上の自主学習の習慣を身につけさせたい。</li> <li>・ オープンスクールでは係生徒として中学生に向けて本校の案内を行った。</li> <li>・ 会議などを通じて、学年団で情報の共有ができた。</li> </ul>
<p>第2学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶の励行と生活習慣の確立</li> <li>・ より高い目標の設定</li> <li>・ 学校行事の活用</li> <li>・ 教員の教科指導力、進路指導力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活面における自己管理能力の育成</li> <li>・ 学校生活全般における高い目標設定の実現</li> <li>・ 西祭や修学旅行や80周年記念行事等を生かしたリーダーの育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶はできるようになったものの、不注意による遅刻があり時間を守れないこともあった。</li> <li>・ コロナ禍の中、学習や部活動において高い目標を持ち、努力を継続することができた。</li> <li>・ 記念式典では厳粛な雰囲気の中、典礼や誓いの言葉等、個々の持ち味を發揮することができた。</li> <li>・ 質の高い教育活動のために、さまざまな議論ができた。</li> </ul>
<p>第3学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最高学年としての自覚の向上に向けた支援</li> <li>・ 品位ある行動への支援</li> <li>・ 学力や進路希望に応じたきめ細かな指導の充実</li> <li>・ 高い目標設定と実現に向けての支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部活動や学校行事に最後まで全力で取り組む態度育成</li> <li>・ 授業、「SS課題研究」、補習、各学校行事への意欲的な参加</li> <li>・ 面談等の情報の把握を通した学年全体での協力体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校祭では、最上級生として下級生をリードできた。</li> <li>・ 多くの生徒が、業後自習教室や冬季登校学習、特別講座に意欲的に参加した。</li> <li>・ 年間を通して面談や学習記録表の点検を実施し、生徒の状況把握に努め、学年全体で情報共有できた。</li> </ul>
<p>学校関係者評価を実施する主な評価項目</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT活用の更なる活用をはじめとする、生徒の実態とニーズに合った授業改善の取組の一層の充実</li> <li>・ 「エンカレッジ運動」、進路行事、学校祭等あらゆる取組及び行事に対する「小さな改善」の継続的実践</li> <li>・ SSH事業の評価、検証に関する手法及び体制づくりの改善</li> <li>・ 授業アンケート（生徒対象）、公開授業アンケート（中学校教員対象）、学校評価アンケート（保護者対象）、SSH関係の各調査等を通じた成果の検証</li> </ul>	